

# 政見放送のご案内

衆議院選挙（小選挙区〇〇県）

2026年 1月

**NHK**

NHKは、公職選挙法などの関係法令に基づき、政見を収録し、放送しています。

この冊子は、衆議院選挙（小選挙区）の政見放送の申し込み手続きや注意事項などをまとめたものです。

候補者届出政党の担当者は、必ずご一読いただきますよう、お願いいたします

# 目 次

## 政見放送

### 1 政見放送の概要

- (1) 政見の持ち時間
- (2) 放送回数
- (3) 放送日時・順序
- (4) 放送範囲
- (5) 政見放送の種類

### 2 「政見」を提出する場合（持ち込み）

- (1) 政党・プロダクションへのお願い
- (2) 「わたり」について
- (3) 提出できる「政見」の数
- (4) 受付期間・時間
- (5) 受付場所
- (6) 提出手続き
- (7) 2種類の政見を提出した場合の放送日時の指定について

### 3 NHKで収録する場合

- (1) 受付期間・時間
- (2) 受付場所
- (3) 申し込み手続き
- (4) 政見放送の収録

## NHK政見放送・經歷放送資料

- (1) 政見放送（「持ち込み」）に関する留意事項
- (2) 政見放送（テレビ・ラジオ）の政党提出ＸＤカムの技術基準  
アニメーション等の映像手法について
- (3) 代理人証明書
- (4) 政見放送申込書
- (5) 確約書
- (6) テレビ・ラジオ政見放送提出ディスク確認シート
- (7) 録画（録音）方式届（別紙 1）
- (8) 文字（全画面）により届出候補者を紹介する場合の紹介順位及び氏名  
(添付書類 1)
- (9) “ (添付書類 1 のつづき)
- (10) 複数方式に出席する届出候補者の氏名（添付書類 2）
- (11) “ (添付書類 2 のつづき)
- (12) 政見放送録画（録音）日時決定票
- (13) A ディスク及び B ディスクを提出又は収録する  
候補者届出政党の各ディスクの放送日時の指定の通知書（別紙 2）
- (14) 候補者経歴書
- (15) 出席証明書
- (16) 録音物使用申請書
- (17) 録音用原稿用紙
- (18) 常時介護者届出書
- (19) 代理人証明書（経歴書提出用）

# 1 政見放送の概要

衆議院小選挙区選挙で政見放送を行うことができるのは、候補者届出政党だけです。候補者届出政党以外の政党・政治団体・無所属の候補者は、小選挙区に立候補することはできますが、政見の放送はできません。

候補者届出政党になることができるのは、①衆議院議員または参議院議員を5人以上有するか、②直近の国政選挙での得票総数が有効投票の2%以上である政党その他の政治団体です。

## (1) 政見の持ち時間

1回の政見放送の時間は9分以内です。

## (2) 放送回数

放送回数は届出候補者の数により異なります。

届出候補者の数	テレビ放送	ラジオ放送
1人または2人	1回	1回
3人～5人	2回	1回
6人～8人	4回	2回
9人～11人	6回	3回
12人以上	8回	4回

## (3) 放送日時・順序

放送日時と放送順序は、都道府県の選挙管理委員会が「くじ」で決め、各候補者届出政党に通知します。

## (4) 放送範囲

放送は、「〇〇県△△党の政見放送」というように、各都道府県の候補者届出政党ごとに行います。

(5) 政見放送の種類

小選挙区の政見放送では、候補者届出政党がみずから制作した「政見」を提出する（持ち込み）ことができます。

また、「政見」を提出しない場合は、NHKで収録することができます。

## 2 「政見」を提出する場合（持ち込み）

### (1) 政党・プロダクションへのお願い

総務省の「政見放送および経歴放送実施規程」には次のように定められています。

**「政党が自ら制作する政見は、その政見を放送する放送局が定める技術基準を満たさなければならない」**

「政見」を提出する場合は、以下の2つの内容をプロダクションの担当者と確認のうえ、制作にあたってください。

○政見放送（「持ち込み」）に関する留意事項（資料(1)）

○政見放送（テレビ・ラジオ）の政党提出XDCAMディスクの技術基準  
（資料(2)）

および「補足資料」（資料(11)）、「光点減などアニメーション等の映像手法について」（資料(12)）

持ち込んだ政見が、技術基準を満たしていない場合、修正・再提出をお願いすることになります。これまでの選挙で、再提出をお願いせざるを得ない政見が数多く持ち込まれています。修正には時間も手間もかかるため、ぜひ、再提出がないように基準を満たした政見の提出をお願いします。

【問合せ】〇〇－〇〇〇〇－〇〇〇〇

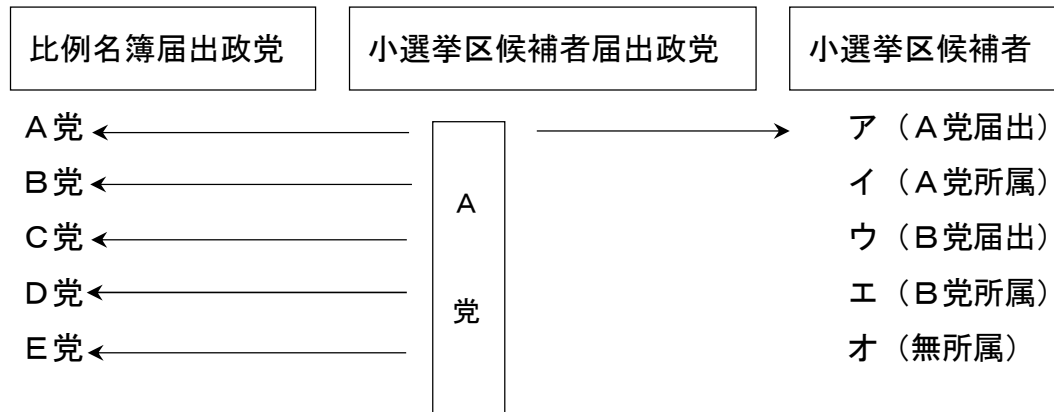
留意事項と技術基準を満たしていれば、構成や演出などは自由です。留意事項には、法律などで求められている「品位の保持」や「著作権など権利関係の処理」のほか、政見放送ではではないことなどが細かく書かれています。ご不明な点は問い合わせてください。

### (2) 「わたり」について

政見放送では、選管に届け出た自党の候補者以外は、たとえ推薦候補であっても投票を呼びかけたりすることはできません。比例代表につ

いては、あらゆる政党に有権者の支持を訴えることができます。

(下記図表の A 党は候補者届出政党。矢印は触れることができます)



### (3) 提出できる「政見」の数

テレビ・ラジオそれぞれ 1 種類。

ただし、放送回数が 2 回以上の場合は、テレビ・ラジオそれぞれ 2 種類の「政見」(A ディスク・B ディスク)を提出することができます。1 種類につき、本番 1 枚・予備 1 枚の 2 枚の「政見」を提出してください。

テレビ用音声をそのままラジオ用に使用する場合、ラジオ用を別に提出する必要はありません。

### (4) 受付期間・時間

○ 受付期間      1 月〇〇日 (   ) ～ 1 月〇〇日 (   )

○ 受付時間      以下の通りです

公示前の受付時間	月曜日～金曜日 午前 10 時～午後 4 時



公示日の受付時間	午前 8 時 30 分～午後 5 時
----------	--------------------

※ 公示前の土曜・日曜は受け付けを行いません。

くわしいことは、下記の放送局にお問い合わせください。

(5) 受付場所

N H K ○ ○ （住所）

電話 ○ ○ - ○ ○ ○ ○ - ○ ○ ○ ○ （平日 午前 1 0 時～午後 6 時）

**※ 事前に必ず電話で来局時間をご予約ください。**

**予約なしでの来局・受付はできません。**

(6) 提出手続き

候補者届出政党の代表者または政見放送担当責任者もしくは代理人は、制作プロダクションの技術担当者と一緒に来局し、政見放送の申し込みとあわせて、「政見」を提出してください。代理人の場合は、「代理人証明書」（資料(3)）が必要です。

政見放送の申し込みと同時に「政見」が提出できない場合は、先に政見放送の申し込み手続きだけを行うこともできます。その場合の受付期間・時間・場所は、「政見」の提出の受付期間・時間・場所と同じです。

ア 必要書類

提出の際に用意していただくものは、以下のとおりです。

○ 公示前の場合

- ① 政見放送申込書（資料(4)）
- ② 供託したことを証明する書面（供託証明書）  
※ 供託後に供託所から交付される供託書正本（原本）のコピー
- ③ 確約書（資料(5)）
- ④ 代理人証明書（資料(3)）※ 代理人が申し込みを行う場合のみ
- ⑤ 代表者または政見放送担当責任者の印鑑

認め印でもかまいません。)

○ 公示日の場合 (※立候補届出後に申込み可)

- ① 政見放送申込書 (資料(4))
- ② 代理人証明書 (資料(3)) ※代理人が申し込みを行う場合のみ
- ③ 代表者または政見放送担当責任者の印鑑  
(※印鑑は必須ではありませんができるだけご持参ください。認め印でもかまいません。)

※公示日当日の申し込みは、立候補の届出を済ませた候補者届出政党でなければ受付を行うことができません。

※必ず上記の提出物を書面で持参し申し込みを行ってください。口頭での受付はできません。

※代理人が申し込みを行う場合、「代理人証明書」の提出とあわせて、本人確認を行いますので、本人確認書類を忘れずにご持参ください。

【本人確認書類にあたるもの】

運転免許証、マイナンバーカードなど写真付きのもの

※パスポートは、2020年2月3日以前に申請されたものに限りま。

※これらをお持ちでない場合は申込み前にNHKにご相談ください。

イ 試写 (試聴)

提出された「政見」は、NHKの担当者とともに、試写 (試聴) を行い、問題がなければ、「テレビ・ラジオ政見放送提出ディスク確認シート」(資料(6)) に必要事項を記入していただき、受け取ります。

一度受け取った「政見」については内容変更・再提出のないようお願いします。試写 (試聴) で問題があれば、再提出を求めることがあります。

「政見」を提出する方には、当該候補者届出政党の政見について、一切の責任を持っていただきます。

(7) 2種類の政見を提出した場合の放送日時の指定について

放送日時と放送順序は、都道府県の選挙管理委員会が、政見放送の申し込み締め切り後に「くじ」で決め、各候補者届出政党に通知します。

「Aディスク」「Bディスク」の2種類の政見を提出した候補者届出政党は、公示日の翌日の正午までに、「Aディスク」「Bディスク」それぞれの放送日時を指定した通知書（資料(13)）をNHKに提出してください。通知書は、テレビ・ラジオそれぞれについて、提出していただくことになっています。

通知書の提出が遅れますと、政見放送の制作スケジュールに大きな影響が出ますので、くれぐれもよろしくお願いいたします。

### 3 N H K で 収 録 す る 場 合

#### (1) 受 付 期 間 ・ 時 間

○ 受 付 期 間      1 月 ○ ○ 日 (   ) ~ 1 月 ○ ○ 日 (   )

○ 受 付 時 間      以 下 の と お り で す 。

公 示 前 の 受 付 時 間	月 曜 日 ~ 金 曜 日 午 前 10 時 ~ 午 後 4 時
公 示 日 の 受 付 時 間	午 前 8 時 30 分 ~ 午 後 5 時

※ 公 示 前 の 土 曜 ・ 日 曜 は 受 け 付 け を 行 い ま せ ン 。

く わ し い こ と は 、 下 記 の 放 送 局 に お 問 い 合 わ せ く だ さ い 。

#### (2) 受 付 場 所

N H K ○ ○ ( 住 所 )

電 話   ○ ○ - ○ ○ ○ ○ - ○ ○ ○ ○ ( 平 日   午 前 10 時 ~ 午 後 6 時 )

※ 事 前 に 必 ず 電 話 で 来 局 時 間 を ご 予 約 く だ さ い 。

予 約 な し で の 来 局 ・ 受 付 は で き ま せ ン 。

### (3) 申し込み手続き

申し込みできるのは、候補者届出政党の代表者または政見放送担当責任者もしくは代理人です。代理人の場合は「代理人証明書」(資料(3))を提出してください。

申し込みの際に用意していただくものは、以下のとおりです。

#### ○公示前の場合

- ①政見放送申込書および別紙 1 および添付書類 1・2  
(資料(4)(7)～(11))
- ②供託したことを証明する書面(供託証明書)  
※供託後に供託所から交付される供託書正本(原本)のコピー
- ③確約書(資料(5))
- ④代理人証明書(資料(3)) ※代理人が申し込みを行う場合のみ
- ⑤代表者または政見放送担当責任者の印鑑  
(※印鑑は必須ではありませんができるだけご持参ください。認め印でもかまいません。)

#### ○公示日の場合(※立候補届出後に申し込み可)

- ①政見放送申込書および別紙 1 および添付書類 1・2  
(資料(4)(7)～(11))
- ②代理人証明書(資料(3)) ※代理人が申し込みを行う場合のみ
- ③代表者または政見放送担当責任者の印鑑  
(※印鑑は必須ではありませんができるだけご持参ください。認め印でもかまいません。)

※公示日当日の申し込みは、立候補の届出を済ませた候補者届出政党でなければ受付を行うことができません。

※必ず上記の提出物を書面で持参し申し込みを行ってください。口頭での受付はできません。

※代理人が申し込みを行う場合、「代理人証明書」の提出とあわせて、本人確認を行いますので、本人確認書類を忘れずにご持参ください。

【本人確認書類にあたるもの】

運転免許証、マイナンバーカードなど写真付きのもの

※パスポートは、2020年2月3日以前に申請されたものに限りま

※これらをお持ちでない場合は申込み前にNHKにご相談ください。

※「政見放送申込書」には政見放送で表示する候補者届出政党の名称（略称不可）や収録方式などを記入し、「別紙」には収録する際の細目などを記入します。文字（全画面静止画）で届出候補者を紹介する場合などには「添付書類」に所要の事項を記入してください。

申し込みいただきますと、政党のご希望を考慮して、収録日時を決め、「政見放送録画（録音）日時決定票」（資料（12））を発行します。収録当日は、この決定票を必ずご持参ください。

申し込み後は、正当な理由なく、記載内容や収録日時の変更は一切できません。

(4) 政見放送の収録

原則として、政見放送の申し込みを受け付けたNHKの放送局で収録します。

なお、受付期間内に申し込みをしなかった場合や、申し込み時に決めた収録日時に正当な理由なく来なかった場合は、政見放送ができなくなりますので、ご注意ください。

ア 収録方式

以下のように、届出候補者が9人以上の場合、2種類の政見（Aディスク、Bディスク）を収録することができます。

届出候補者数	録画（録音）回数
1人～8人	1回
9人以上	2回

2種類の政見を収録する候補者届出政党は、申し込み書類に「Aディスク」「Bディスク」の区別をして、それぞれの収録方式を記入してください。収録方式は、以下の3つの中から選んでいただきます。

①「単独方式」

1人で着席したままのお話。

届出候補者でなくてもかまいません。

②「対談方式」

2人で着席したままのお話。

届出候補者でなくてもかまいません。

③「複数方式」

1人の司会者の進行で、届出候補者が1人ずつ順次登場してのお話。司会者は届出候補者でなくてもかまいません。

※使用するカメラはどの方式でも1台です。

※単独方式および対談方式の場合は、希望により届出候補者を文字（全画面静止画）で紹介することができます。「添付書類1」（資料(8)）に紹介する順位を記入してください。

※複数方式の場合は、「添付書類2」（資料(10)）に、出席する名簿登載者の氏名または通称を記入してください。

※ラジオの政見放送は、原則として、テレビの政見放送の音声そのまま使用します。

ただし、③の複数方式のみ、希望があった場合には、別に収録することができます。その場合は「別紙1」（資料(7)）に記入してください。

収録方式は、テレビと同じ3つの方式のいずれかに限ります。

イ プロンプターなど

収録では、政党などが用意したプロンプターなどを使用するこ

とも可能です。ただし、その場合は収録前日までにNHKに持ち込んでいただき、画質や音質に影響を及ぼさないかチェックする必要があります。詳しくはNHKにお問い合わせください。

#### ウ 服飾など

通常の洋服・和服いずれでも結構です。色は紺・茶・グレー系統のものが好ましく、白系統や細かい柄はテレビの画面が見えにくくなる場合がありますので、さけていただくのが無難です。

たすき・はちまき・腕章、その他特別の意図を示す服飾・バッジなどは使用できません。

収録では、原稿以外の図表・写真・絵などは使用できません。画面に映りこまない範囲で、政党側がカンペを出すことは可能です。NHK側がお手伝いすることはできません。

#### エ 言動

公職選挙法では、以下の言動は禁止されています。内容によっては候補者本人や関係者が民事上・刑事上の責任を問われる可能性がありますのでご注意ください。収録後に削除・編集等の要請をされても一切応じかねます。

- ・ 他人もしくは他の政党、その他の政治団体の名誉を傷つけること
- ・ 善良な風俗を害すること
- ・ 特定の商品の広告など営業の宣伝をすること
- ・ その他、政見放送としての品位を損なう言動
- ・ 他の選挙や当該地域以外の選挙の運動（わたりは例外）

#### オ 「わたり」について

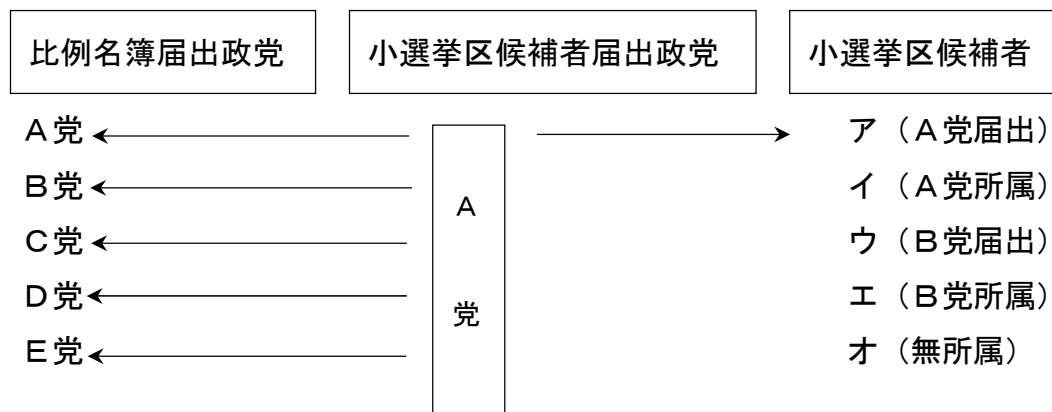
政見放送では、選管に届け出た自党の候補者以外は、たとえ推薦候補であっても投票を呼びかけたりすることはできません。比例代表については、あらゆる政党に有権者の支持を訴えるこ



とができます。

※次図表の A 党は候補者届出政党。

矢印は触れることができます。



#### カ 収録所要時間

打ち合わせ・メイクを含めて 1 時間半程度です。

#### キ 2 種類の政見を収録した場合の放送日時の指定について

放送日時と放送順序は、都道府県の選挙管理委員会が、政見放送の申し込み締め切り後に「くじ」で決め、各候補者届出政党に通知します。

「A ディスク」「B ディスク」の 2 種類の政見を収録した候補者届出政党は、公示日の翌日の正午までに、「A ディスク」「B ディスク」それぞれの放送日時を指定した通知書（資料(13)）を NHK に提出してください。通知書は、テレビ・ラジオそれぞれについて、提出していただくことになっています。

通知書の提出が遅れますと、政見放送の制作スケジュールに大きな影響が出ますので、くれぐれもよろしくお願いいたします。

#### ク 音声機能等に障害のある方の政見放送

音声機能もしくは言語機能に障害のある方は、あらかじめ原

稿を提出しNHKで録音したものを政見放送の収録の際に使用するか、または当該候補者を常時介護する者を通じて政見を述べることができます。

対象となるのは、身体障害者手帳または戦傷病者手帳に総務省告示で定められた音声機能もしくは言語機能に障害があると記載されている人、あるいはそれと同程度の障害があると都道府県知事または指定都市または中核市の長が書面で証明した人となっています。

希望される方は、音声機能などの障害の程度を証明する書面（または手帳）と、政党が発行した「出席証明書」（資料(15)）を添付して「録音物使用申請書」（資料(16)）「録音用原稿」（資料(17)）、または「常時介護者届出書」（資料(18)）を提出してください。

録音用原稿の字数は、2500字以内です。楷書で、固有名詞などにはふりがなをつけてください。

※録音用原稿はWordファイルなど、電子データでの提出も可能です。作業の正確性や効率性の観点からもNHKとしては電子データでの提出を推奨します。希望される場合は、NHK担当者にご相談ください。

※「公職選挙法」「政見放送及び経歴放送実施規程」など、政見放送に関係する法令は総務省のHPで公開されています。

[https://www.soumu.go.jp/menu\\_hourei/senkyo.html](https://www.soumu.go.jp/menu_hourei/senkyo.html)



## 衆議院小選挙区 政見放送(持ち込みディスク)に関する留意事項

日本放送協会

貴候補が、自ら制作した政見をNHKに提出する場合には、以下の点に十分注意し、確実に処理したうえで、提出してください。

- 1 公職選挙法では、候補者届出政党は、政見放送を行う際には、その責任を自覚し、他人や他の政党などの名誉を傷つけたり、善良な風俗を害したり、または、特定の商品の広告その他の営業に関する宣伝をするなど、いやしくも政見放送の品位を損なう言動をしてはならないと規定されています。内容によっては候補者本人や関係者が民事上・刑事上の責任を問われる可能性がありますのでご注意ください。法律に従って品位を保った政見を制作してください。
- 2 公職選挙法では、候補者届出政党が行う小選挙区の政見放送では、その政党が選管に届け出た候補者以外の候補者に触れた放送はできないことになっています。たとえ貴政党が推薦していても、他の政党の候補者や無所属の候補者に対する応援などは、政見放送の中ではできない規定になっていますので、ご注意ください。
- 3 総務省が定める政見放送の実施規程では、政党が自ら制作する政見放送の録音や録画にあたっては、著作権法に規定する著作者人格権や著作権、それに、著作隣接権を侵害するものであってはならないと規定されています。映像だけでなく、楽曲などの音声についても同様です。規程に従って著作権などの処理は確実に行ってください。例えば、NHKなどで放送された国会中継等の映像を使用になる際、私的に録画されたものを使用することはできません。NHKなどに複製等の申請を行い、入手してください。
- 4 実施規程では、政党が自ら制作する政見は、その政見を放送する放送局が定める技術基準を満たさなければならないと規定されています。提出される政見は、NHKの定める技術基準を十分に参照して制作してください。また、政見は1種類につき2枚(本番と予備) 提出してください。
- 5 政見のディスクには、都道府県名および候補者届出政党名を記入してください。また、2種類のディスクを提出する場合には、Aディスク・Bディスクの別を記入して下さい。
- 6 制作した政見は、公示(告示)日の午後5時までに、NHKに提出してください。政見の内容時間や映像・音声など技術チェックを行う必要がありますので、政見の提出にあたっては、候補者届出政党の政見放送担当責任者、または、その代理人と政見を制作したプロダクションの技術担当者の来局をお願いします。
- 7 政見放送中でも、必要があれば地震情報や気象警報等を画面右側に縦2行まででスーパーすることがありますので、制作にあたっては注意してください。

## 衆議院小選挙区 政見放送の持ち込みディスクの技術基準

日 本 放 送 協 会

### ★必ずご確認ください

・以下に記載するNHKの技術基準を満たしていない場合、放送時に政党側の意図する映像や音声を正確に表現できない可能性があります。  
・ディスクを持ち込まれる際には、NHKが以下の技術基準に基づいて確認を行います。基準を満たしていない場合は、修正や再提出をお願いすることがあります。その際は、NHK担当者と十分に協議の上でご対応ください。

### 1. ディスク(テレビ・ラジオとも同一規格)

#### (1)種 類

XDカム用 PFD(Professional Disc)

#### (2)ディスク

1層式 PFD23A:リライタブル(書き換え型) 23GB または、  
2層式 PFD50DLA:リライタブル(書き換え型) 50GB

### 2. 映像周波数

フレームレート 29.97fps

フィールド周波数 59.94Hz インターレース方式

### 3. 収録フォーマット(テレビ・ラジオとも同一規格)

(1)下記「提出するディスクの収録フォーマット」と「提出するディスクの収録フレーム」に従って記録する。

(2)記録コーデックは、

SONY XDCAM MPEG HD422 ビットレート 50Mbps(1920×1080) で記録する。

#### (3)基準信号

映 像:

ARIBマルチフォーマット・カラーバー(ARIB STD-B28準拠)

または、これに代わる信号。100%白、0%黒の部分があること。

音 声:

1kHz 0VU(−18dBFS)。1・2チャンネルに同一信号を記録する。

#### (4)表示パターン

「候補者名」「政党名」「道府県名」「テレビ・ラジオの別」「内容時間(9分以内)」を表示する。

(5)放送開始点は、表示パターン終了から5秒後とする。

表示パターンから放送開始点までの5秒間は、放送内容の冒頭映像を記録する。

また、放送終了点あとの約15秒間は、放送内容の最終映像を記録する。

### 4. 収録レベル等

(1)映 像: 輝度信号は、最大値が100%を超えないこと、最小値が0%を下回らないこと。

・トランジェントパルスの成分(定期的に発生しない信号)は、+109%まで許容する。

なお、マイナス方向の輝度信号は存在してはならない。

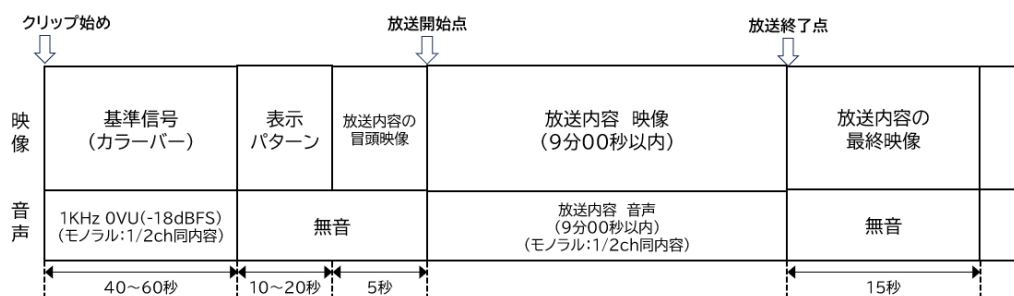
・セットアップは0%とする。

・クロマ信号は、ベクトル스코ープの100%原色点(R、Ye、G、Cy、B、Mg の6点)を結ぶ六角形内に収まっていること。

- (2)音 声： 平均ラウドネス値を-24.0LKFS とすること(ただし、±1LKFS を許容範囲とする)。  
(参考:ラウドネス値測定は、モノ出力をラウドネスメーターの L/R にパラで入力する。  
または、1・2CH同じ音声で制作し、その1・2CH出力を L/R に入力する。)
- ・ピークレベルは、サンプルピークメーターで-3dBFS 以内とする。
  - ・モノラル(1CH=主音声、2CH=1CHと同じ音声) であること。
  - ・過度のコンプレッションや過度の高域周波数の強調を行わないこと。

- (3)タイムコード： 表示パターン開始点から最終映像終了点まで連続したタイムコードであること。  
(LTC)が収録されていること。ドロップフレーム(DF)を使用すること。

### 「提出するディスクの収録フォーマット」



※注 基準信号から放送内容の最終映像までは同一クリップで収録されていること。

### 「提出するディスクの収録フレーム」

提出ディスクの内容は、16:9のハイビジョンフレームで制作する。

#### ★注意★

- ・放送は、提出されたディスクからNHKの放送用メディアにコピーして行う。
- ・本技術基準は選挙ごとに見直すことがあります。事前にNHKにお問い合わせください。

### 5. 「光点減」について

連続する大量のカメラフラッシュなどの映像は、視聴者の健康に影響を及ぼすおそれがあります。NHKで技術的なチェックを行い、健康に影響を及ぼす恐れのある映像があると判断された場合は、手直しをお願いすることもありますので、ご案内にある「光点減ガイドライン アニメーション等の映像手法に関するガイドライン」をご確認頂き、政見放送の作成にはご配慮をお願いします。NHK では、光点減における確認をハーディングマシン(分析基準:Ofcom[ITU]規格)で行います。

### 6. ラジオについて

#### ◆納品メディア

提出にあたっては、テレビと同様にディスクで納品すること。テレビの音声と同じ内容の場合は兼用することができ、別納品は不要。(その旨を表示パターンに記載すること)

#### ◆基準信号

テレビ基準で収録した物を納品すること。 ※3.(3)を参照

# 政見放送の 候補者提出XDカムディスクの技術基準 【補足資料】

- ① はじめに(P.2～)
- ② 持ち込み政見ディスクの技術基準  
に基づく判断目安(P.4～)
- ③ サンプル(NG事例)(P.10～)

2025年4月～

**NHK**

## ①はじめに

本資料は、政見放送の候補者提出XDカムディスク(以下、持ち込み政見ディスク)のNHK技術基準における補足資料です。

「持ち込みビデオ方式」において、  
公職選挙法では、以下のように定められています。

**「放送事業者は、その録音・録画した政見又は  
当該候補者が録音・録画した政見をそのまま放送しなければならないものとする。」**

また実施規定には、以下のように定められています。

「政党が自ら制作する政見は、  
**当該政見が放送される放送局において定める技術的基準 を満たすものとして、  
当該放送局が認めるものでなければならない。」**

## ①はじめに

技術基準は、公平性を担保し、放送時の映像・音声の品質管理・維持を行う上で、大変重要な要素となります。

**技術基準を満たしていない場合、  
政党側の意図する映像や音声が正確に表現できない可能性があります。  
また状況によっては、修正や再提出をお願いすることがあります。**

つきましては、  
NHKの定める技術基準[本紙含む、資料(9)～(12)] を十分にご確認の上、  
制作頂きますよう、ご理解・ご協力をお願いします。

※当該基準は、政見放送を行うNHKが独自に規定したものであり、  
民放の基準とは異なる部分がありますこと、ご理解・ご了承ください。



②持ち込み政見ディスクの技術基準に基づく判断目安

★技術試写の判断目安 →受領NG、修正・再提出となる項目

1. ディスク(テレビ・ラジオとも同一規格)

(1)種類 …XDカム用 PFD(Professional Disk) であること。

(2)ディスク

× 黄色の3層ディスクは使用できません！ →受領NG！



【PFD23A】



【PFD50DLA】



【PFD100TLA】

2. 映像周波数

フレームレート …29.97fps、フィールド周波数→59.94Hz インターレース方式

× 24Pや30Pなどのプログレッシブ映像 →受領NG！

②持ち込み政見ディスクの技術基準に基づく判断目安

★技術試写の判断目安 →受領NG、修正・再提出となる項目

3. 収録フォーマット(テレビ・ラジオとも同一規格) の一部

(1)ディスクの収録フォーマット

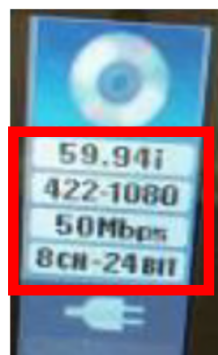
× 基準信号から放送内容の最終映像まで同一クリップで収録されていない →受領NG！

× 放送内容の指定尺(衆議院選挙:9分以内)を満たしていない →受領NG！

(2)記録コーデック

× 規定コーデックでない場合 →受領NG！ ※NHK側でコーデック変換は行いません。

【OK】



【PDW-HD 1500】  
操作パネル表示

【OK】



【XDS-PD2000】  
操作パネル表示

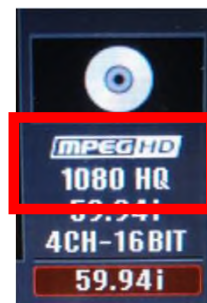
★XDカムデッキ表示部で、フィールド周波数や記録コーデックを確認できます！

◎ファイル形式(拡張子):MFX

◎コーデック:SONY XDCAM MPEG HD422 ビットレート50Mbps(1920×1080)

◎オペレーションパターン:OP1A

【NG】



×:コーデックL35  
MPEG HD420  
35Mbps

【NG】



×:コーデックXAVC  
(AVC/I100 OP1A)  
100Mbps

②持ち込み政見ディスクの技術基準に基づく判断目安

★技術試写の判断目安 →受領NG、修正・再提出となる項目

3. 収録フォーマット(テレビ・ラジオとも同一規格) の一部

(3)基準信号

×「映像:ARIBマルチフォーマット・カラー-(ARIB STD-B28準拠) または、これに代わる信号。  
100%白・0%黒の部分があること」を満たしていない →受領NG!

4. 収録レベル等 の一部

(1)映像:

× 0%以下となる部分がある場合 →受領NG! ※協議余地あり  
× CG素材(静止画・テロップ など) において、輝度レベルが0~100%に収まっていない →受領NG!  
× クロマ信号(色) →ベクトルスコープの100%原色点(R・Ye・G・Cy・B・Mgの6点)を結ぶ  
六角形内に収まっていない(オーバーはNG) →受領NG!

(2)音声:

× ステレオ素材(1ch≠2chあり) →受領NG ※協議余地あり  
× 平均ラウドネス値 →-24.0LKFS(±1LKFSを許容範囲)に対し、  
基準より低い場合はNG(0.1でもダメ) →受領NG!

## ②持ち込み政見ディスクの技術基準に基づく判断目安

### ★技術試写の判断目安 →受領NG、修正・再提出となる項目

#### 4. 収録レベル等 の一部

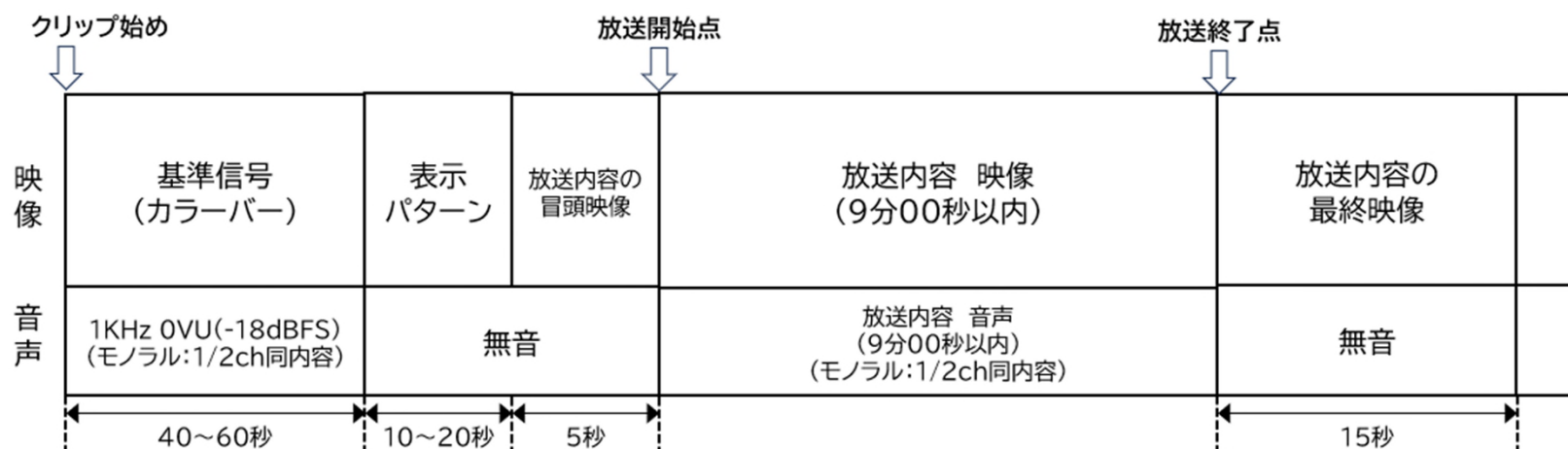
##### (3)TC(タイムコード):

× LTC/表示パターン開始点～最終映像終了点において連続していない →受領NG！

× DF(ドロップフレーム)を使用していない ※NDF(ノンドロップフレーム)使用 →受領NG！

#### 5.「光点減」について …ハーディングマシンで測定します(Ofcom[ITU]規格)

× 赤点減など、明らかに「失格」の場合 →受領NG！



衆議院選挙:「持ち込みディスクの記録フォーマット」

## ②持ち込み政見ディスクの技術基準に基づく判断目安

### ★技術試写の判断目安 → 協議項目

#### 3. 収録フォーマット(テレビ・ラジオとも同一規格) の一部

- △ 基準信号(音声) → 規定は-18dBFS。-20dBFSの場合は協議 (本編支障なければ「可」)。
- △ 表示パターン → 規定を満たしていない場合は協議 (本編に支障なければ「可」)。
- △ 放送開始・終了点 → 音出・音絞りが0秒の場合は協議 (尺以内であれば「可」)。

#### 4. 収録レベル等 の一部

- △ 映像 → 実写部分やカット切替の映像効果、輪郭部分波形のひげなどの100%超え  
⇒ 協議 (100~109%まで「可」)
- △ 映像 → 0%以下の部分がある  
⇒ 協議。0%付近(-1%程度)の微量なノイズ(いわゆるヒゲ)は「可」
- △ 音声 → 平均ラウドネス値。-24.0LKFS(±1LKFSを許容範囲)に対し、基準より高い場合  
⇒ 協議。一律にレベル下げを条件に「可」。
- △ 音声 → ステレオ(1ch≠2chあり)の場合  
⇒ 協議。1chのみ使用を条件に「可」(1chの内容を2chにコピー)

②持ち込み政見ディスクの技術基準に基づく判断目安

★技術試写の判断目安 →協議項目

5.「光点滅」について …ハーディングマシンで測定します(Ofcom[ITU]規格)

△「警告値の連続による失格」(ある一定の時間に相応数の警告がカウントされた場合) →「可」

協議の結果、受領「可」となった場合は、  
「テレビ・ラジオ政見放送提出ディスク確認シート」に  
必要事項を記入し、押印の上、取り交わしをお願いいたします。

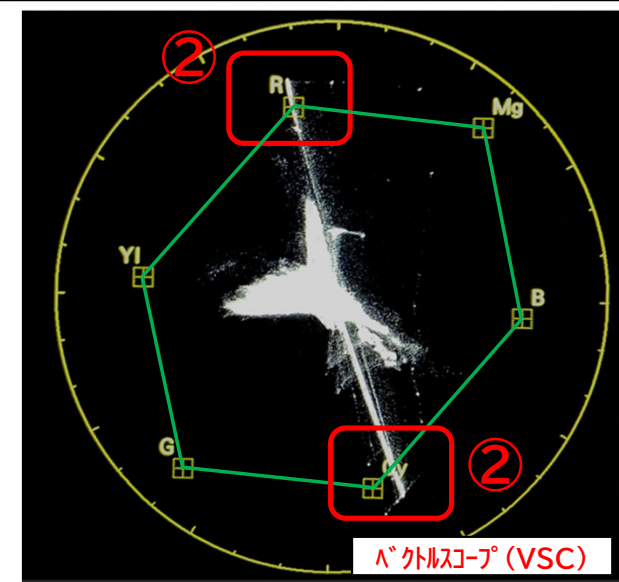
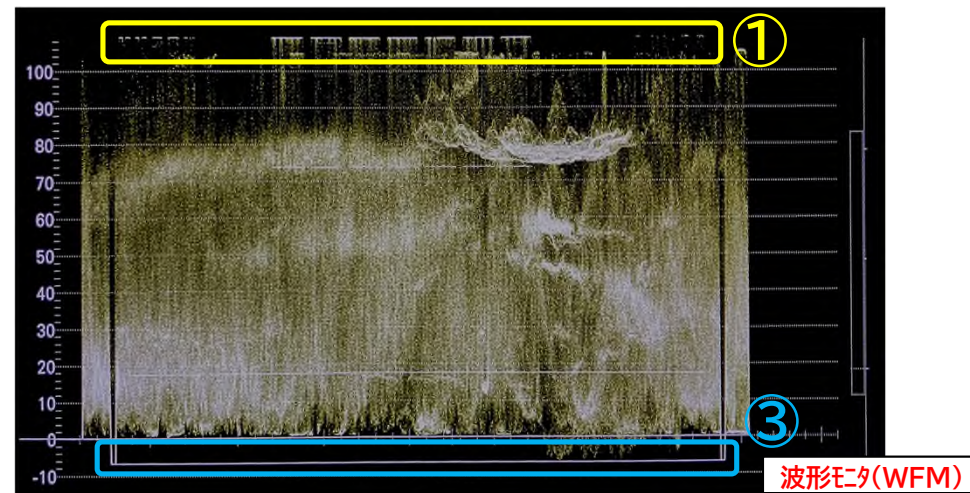
また万が一、修正・再提出が困難であり、  
基準を満たしていない状態で取り交わす場合は、  
覚書を交わすなど、  
双方が納得の上でご対応いただけますようお願いいたします。



# 資料(11) 政見放送の候補者提出XDカムディスクの技術基準【補足資料】

## ③サンプル(NG事例)

NHK



- ①CG素材(テロップ)の輝度信号 →100%オーバー  
…テロップ 3か所
- ②クロマ信号(色) →VSC原色点を結ぶ六角形内に収まっていない  
…画面下 テロップの座布団(赤)、テロップエッジ(水色)
- ③輝度信号が0%を下回る →明らかに一定のレベルで潜っている  
…黒い枠線、球状の映像 →輝度:-8~-2%

※CG素材は0~100%以内に収まる信号です。設定により、信号レベルがマイナス方向やレベルオーバーで書き出される場合があります。修正の場合は、再度設定確認の上、ご対応ください！



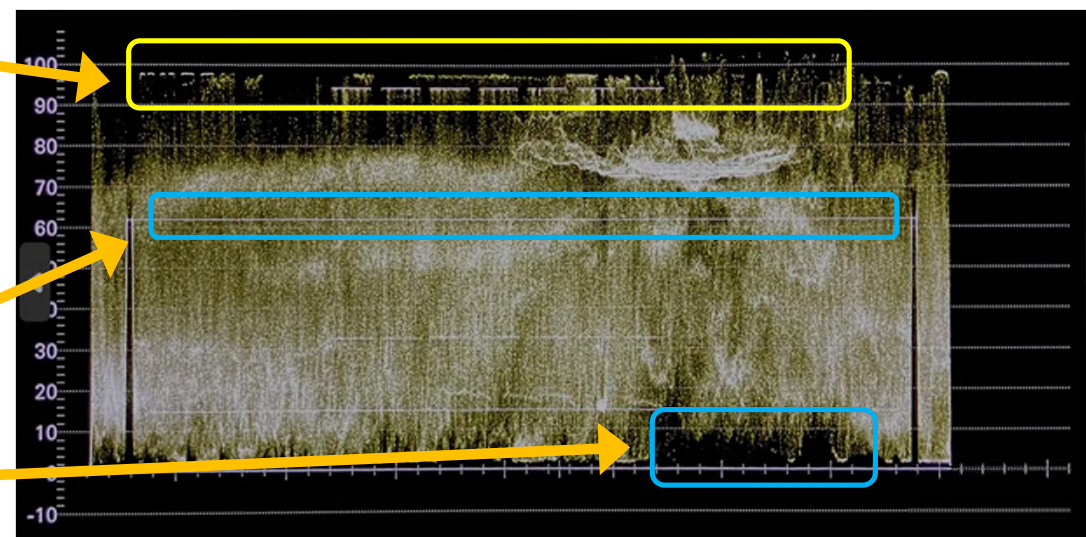
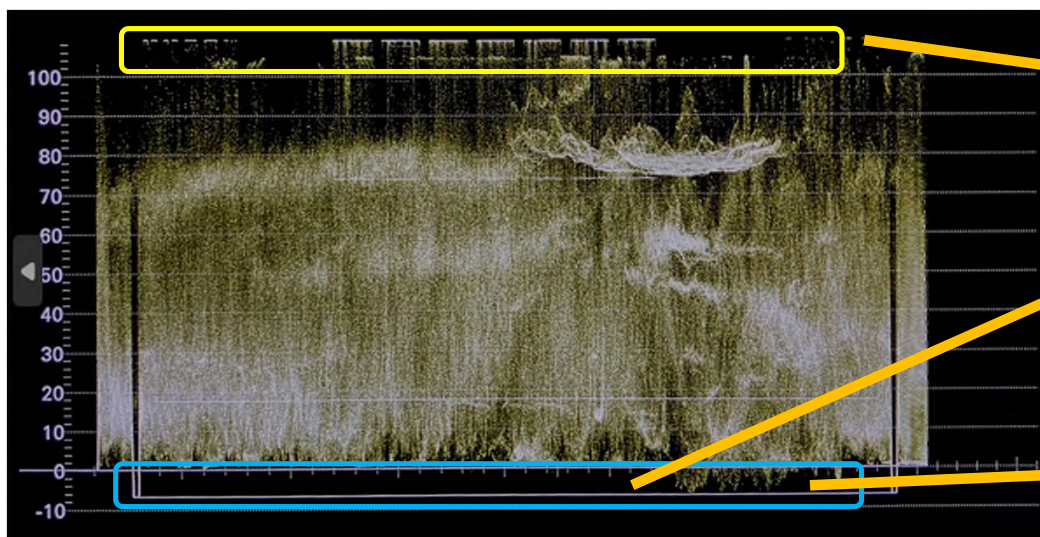
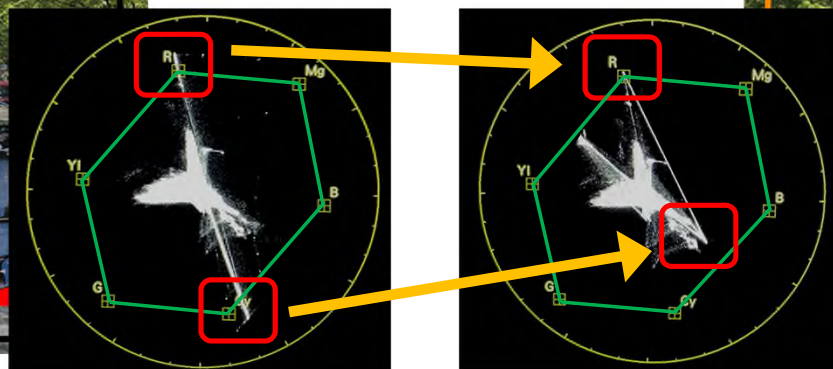
# 資料(11) 政見放送の候補者提出XDカムディスクの技術基準【補足資料】

## ③サンプル(NG事例)

NHK



技術基準内に修正すると...





1998年4月8日 作 成

2006年4月1日一部改訂

2020年4月1日一部改訂

## アニメーション等の映像手法について

日 本 放 送 協 会

日本民間放送連盟

日本放送協会〔NHK〕と日本民間放送連盟〔民放連〕は、1997年にアニメーション番組等の特殊な映像手法が、視聴者、それも多くの子どもたちの健康に影響を及ぼすという重い事態を経験した。

本来、子どもたちに楽しんでもらうはずの放送番組が、一部でその逆の結果を招いてしまったことを、われわれは深く憂慮するとともに、これを放送界全体の問題として捉え、医学者や心理学者などの専門家を加えて真摯に原因を分析・研究しながら、再発防止のための具体的なルールづくりに向けて検討を重ねてきた。

その結果、テレビは本来、明滅しているメディアであるため、視聴者、特に子どもたちへの影響を完全に取り除くことはできないものの、細かく点滅する映像や急激に変化する映像手法に関して、いくつかの点に留意することにより、こうした危険をかなりの程度、回避できることを確認した。

このため、次の点について細心の注意を払う必要があることを喚起する。

- 1.映像や光の点滅、特に「鮮やかな赤」の点滅
- 2.コントラストの強い画面の反転や急激な場面転換
- 3.規則的なパターン模様の使用

われわれは、こうした認識に立って、各放送局が自主的に、運用上の内規等を定めることを促すとともに、その参考に供するため、放送界としての共通のガイドラインを1998年4月に示した。

さらに、ITU〔国際電気通信連合〕において、2005年2月にITU-R勧告BT.1702 “Guidance for the reduction of photosensitive epileptic seizures caused by television（テレビ映像による光感受性発作を抑えるための指針）”が成立したことから、同勧告を参考にガイドラインを一部改訂した。2019年10月にはITU-R勧告BT.1702-2として、高ダイナミックレンジ(HDR:High Dynamic Range)映像に関する内容が盛り込まれ成立したため、ガイドラインを一部改訂しHDR映像に関する読み替え規定を追記することとした。

放送に携わるすべての者は、以下に提示するガイドラインが作られた意図を十分に配慮し、放送界の自主的な共通ルールとして遵守しなければならない。

このガイドラインは、今後の分析・研究の結果等により、必要に応じて改訂する。

#### <アニメーション等の映像手法に関するガイドライン>

1. 映像や光の点滅は、原則として1秒間に3回を超える使用を避けるとともに、次の点に留意する。

- (1) 「鮮やかな赤色」の点滅は特に慎重に扱う。
- (2) 避けるべき点滅映像を判断するにあたっては、点滅が同時に起こる面積が画面の1/4を超え、かつ、輝度変化が10パーセント以上の場合を基準とする。
- (3) 前項(1)の条件を満たした上で、(2)に示した基準を超える場合には、点滅は1秒間に5回を限度とし、かつ、輝度変化を20パーセント以下に抑える。加えて、連続して2秒を超える使用は行わない。

※200cd/m<sup>2</sup>超の高輝度領域を含むHDR(High Dynamic Range)映像については、

(2) (3)を以下のとおり読み替える。

(2) 避けるべき点滅映像を判断するにあたっては、点滅が同時に起こる面積が画面の1/4を超え、かつ、輝度変化が次の①または②の場合を基準とする。

① 点滅暗部が160cd/m<sup>2</sup>未満で、輝度変化が20cd/m<sup>2</sup>以上の場合

② 点滅暗部が160cd/m<sup>2</sup>以上で、輝度変化が点滅暗部の1/8を超える場合

(3) 前項(1)の条件を満たした上で、(2)に示した基準を超える場合には、点滅は1秒間に5回を限度とし、かつ、輝度変化を次の①または②に抑える。加えて、連続して2秒を超える使用は行わない。

① 点滅暗部が160cd/m<sup>2</sup>未満の場合、輝度変化を40cd/m<sup>2</sup>以下

② 点滅暗部が160cd/m<sup>2</sup>以上の場合、輝度変化を点滅暗部の1/4以下

2. コントラストの強い画面の反転や、画面の輝度変化が20パーセントを超える急激な場面転換は、原則として1秒間に3回を超えて使用しない。

※ 200cd/m<sup>2</sup>超の高輝度領域を含むHDR映像については、以下のとおり読み替える。

2. コントラストの強い画面の反転や、次の①または②に該当する急激な場面転換は、原則として1秒間に3回を超えて使用しない。

- ① 点滅暗部が $160\text{cd}/\text{m}^2$ 未満で、  
画面の輝度変化が $40\text{cd}/\text{m}^2$ を超える場面転換
- ② 点滅暗部が $160\text{cd}/\text{m}^2$ 以上で、  
画面の輝度変化が点滅暗部の $1/4$ を超える場面転換

3. 規則的なパターン模様（縞模様、渦巻き模様、同心円模様など）が、画面の大部分を占めることも避ける。

（注1）本ガイドラインの計測においては、

SDR 映像信号の公称ピークレベルは輝度 $200\text{cd}/\text{m}^2$ で表示されることを想定する。

また、HDR 映像信号の公称ピークレベルは、HLG (Hybrid Log-Gamma) 方式では輝度  $1,000\text{cd}/\text{m}^2$ で、

PQ (Perceptual Quantisation) 方式では輝度  $10,000\text{cd}/\text{m}^2$ で、それぞれ表示されることを想定する。

（注2）HDR映像に関する読み替え規定については、運用体制が整った放送局から、速やかに適用を開始する。

上記ガイドラインの運用にあたっては、特に光感受性のリスクが大きいとされる幼児・児童・青少年の視聴実態等への配慮が必要である。

また、連続する大量のカメラフラッシュや雷光、火災、火山噴火などの映像が健康に影響を及ぼすおそれがあることについて、制作者側の意識を高めることに努める必要がある。

映像が視聴者に及ぼす影響をできるだけ少なくするためには、テレビの視聴方法も重要な役割を果たしていることが指摘されており、明るい部屋で受像機から離れて見るなど“テレビの見方”に関する適切な情報を視聴者に提供することは予防手段として有効である。

以上

衆・小

## 代理人証明書

住 所

氏 名

生年月日

年

月

日生

上記の者は、

の政見放送担当責任者

に代って政見放送の申込みに関す

る事務を行うものであることを証明します。

年 月 日

候補者届出政党の名称

政見放送担当責任者の氏名



住 所

備考 この書類は、政見放送担当責任者の代理人が政見放送の申込みを行う場合  
以外には必要ありません。

年 月 日執行衆議院小選挙区選出議員選挙  
政 見 放 送 申 込 書

都 道 府 県 名			
ふ り が な 候補者届出政党の名称			
本 部 の 所 在 地			
ふ り が な 代 表 者 の 氏 名			
届 出 候 補 者 の 数		人	
政見放送担当責任者の 氏名、連絡場所及び 電話番号		氏 名 連絡場所 電話（      —      —      ）	
放 送 回 数		テレビ                      回	ラジオ                      回
選 択	政 党 提 出 (持ち込み)	テレビ                      種類 (うちラジオ用にも使用するもの      種類)	ラジオ                      種類
	録 画 方 式 (局 収 録) 〔別紙1 のとおり〕	Aディスク (                      方式) Bディスク (                      方式)	Aディスク (                      方式) Bディスク (                      方式)

上記のとおり政見放送を申込みます。

年    月    日

候補者届出政党の名称

代 表 者 の 氏 名



NHK〇〇放送局      殿

- 備考
- 録画方式の欄には、収録回数が１回の場合はＡディスクの欄のみに記入し、収録回数が２回の場合はＡディスク及びＢディスクの欄についてそれぞれの方式を記入すること。
  - Ａディスク及びＢディスクを提出または収録する候補者届出政党は、公示（告示）日の翌日の正午までに、Ａディスク及びＢディスクのそれぞれの放送希望日時を別紙２に記入し、受付局に通知すること。

## 確 約 書

年 月 日

N H K ○ ○ 放 送 局 殿

候補者届出政党の名称

代 表 者 の 氏 名



衆議院小選挙区選出議員選挙における候補者の届出にあたり、  
候補者届出政党の名称及び届出候補者の数について、  
下記の通り、選挙長に届け出ることを約束します。

ふ り が な			
候補者届出政党の名称			
都 道 府 県 名		届出候補者の数	人

なお、複数方式による録音又は録画を行う場合には順次登場する候補者となろうとする者を候補者として届け出ること、また、字幕による届出候補者の紹介を行う場合には「字幕により届出候補者を紹介する場合の紹介順位及び氏名」にその氏名等を記載された者を届出候補者として、また、それらの氏名又は通称に関し、通称を記載した者については当該通称の認定を申請すること、また、氏名を記載した者については、通称の認定を申請しないことを約束します。

資料(6)  
様式見本テレビ  
ラジオ 政見放送 提出ディスク確認シート

年 月 日

党名	都道府県名
政見放送担当責任者	
制作プロダクション	技術担当者 電話

- (1) ディスクの種類 ☐ Aディスク ☐ Bディスク
- (2) 内 容 時 間 分 秒
- (3) 収録技術情報
- \* 記録コーデック SONY XDCAM MPEG HD 4 2 2 (L 5 0) ☐
  - \* 音 声 記 録 ☐ 1 ch ☐ 2 ch
  - \* タイムコード (DF の L T C) ☐ 有 ☐ 無
  - \* 放送開始点のタイムコード H M S F
  - \* 放送終了点のタイムコード H M S F
  - \* 平均ラウドネス値 — LKFS
- (4) フォーマット
- \* 基 準 信 号 秒
  - \* 表 示 パ タ ー ン 秒
  - \* 冒 頭 映 像 秒
  - \* 音 映 出 秒
  - \* 映 像 残 し 秒
- (5) 試 写 結 果

ディスク障害 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (キズ・その他)
特 記 事 項

上記のとおり相違ありません

政見放送担当責任者	制作プロダクション 技術担当者	NHK側責任者	NHK側技術担当者

資料（７）

衆・小

（別紙１）

（ ）ディスク録画（録音）方式届

ふ り が な 候補者届出政党の名称			
録 画 方 式		方式	
単 独 方 式 又は 対 談 方 式 の場合	出席者の肩書及び氏名	(ふりがな) (肩 書)	(ふりがな) (肩 書)
		(ふりがな) (氏 名)	(ふりがな) (氏 名)
		(満 歳)	(満 歳)
	字幕による届出候補者の紹介	(該当するものに○印を付けること。) ア 希望する ( 人)。 イ 希望しない。 ( 紹介する届出候補者の紹介順位及び 氏名は添付書類１のとおり。 )	
複 数 方 式 の場合	司会者の肩書及び氏名	(ふりがな) (肩 書)	(ふりがな) (肩 書)
		(ふりがな) (氏 名)	(満 歳)
	出席する届出候補者数	人	
	出席者氏名	添 付 書 類 ２ の と お り	
	ラ ジ オ 別 録 音	(該当するものに○印を付けること。) ア 希望しない。 イ 希望する。 ( 方式)	

（テレビと別途にラジオを局収録する場合に記入すること。）

単 独 方 式 又 は 対 談 方 式 の場合	出席者の肩書及び氏名	(ふりがな) (肩 書)	(ふりがな) (肩 書)
		(ふりがな) (氏 名)	(ふりがな) (氏 名)
		(満 歳)	(満 歳)
複 数 方 式 の場合	司会者の肩書及び氏名	(ふりがな) (肩 書)	(ふりがな) (肩 書)
		(ふりがな) (氏 名)	(満 歳)
	出席する届出候補者数	人	
	出席者氏名	添 付 書 類 ２ の と お り	

備考 1. 標題の「（ ）ディスク」の（ ）内には、Aディスク又はBディスクの別を記入すること。  
 2. 出席者又は司会者が届出候補者である場合において、当該者に選挙長の認定した通称がある場合には、氏名欄には当該通称を記入すること。  
 また、年齢は選挙期日現在の年齢を記入すること。



文字（全画面）により届出候補者を  
紹介する場合の紹介順位及び氏名

候補者届出政党の名称		
<div>(該当するものに○印を付けること。)</div> <div>ア． A ディスク<span style="float:right">イ． B ディスク</span></div> <div>※ 録画回数が 1 回の場合には、ア．に○印を付けること。</div>		
紹介順位及び氏名		
紹介順位	選挙区	氏名又は通称
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

備考 1.この様式は（別紙１）１枚ごとにそれぞれ作成すること。  
2.選挙長の認定した通称がある場合には、「氏名又は通称」欄には当該通称を記入すること。  
3.選挙区の欄には「東京１区」のように記入すること。

資料 (9)

添付書類 1 - ( )

衆・小

[illegible]

衆・小

複数方式に出席する届出候補者の氏名

候補者届出政党の名称	
<div>(該当するものに○印を付けること。)</div> <div>ア. Aディスク<span style="float:right">イ. Bディスク</span></div> <div>※ 録画回数が1回の場合には、ア. に○印を付けること。</div>	
テレビジョン放送、 ラジオ放送の別	<div>(該当するものに○印を付けること。)</div> <div>ア. テレビジョン放送<span style="float:right">イ. ラジオ放送</span></div>
出席する届出候補者の氏名又は通称	

備考 1.この様式は（別紙１）１枚ごと、テレビ・ラジオの別ごとにそれぞれ作成すること。  
2.選挙長の認定した通称がある場合には、「出席する届出候補者の氏名又は通称」欄には当該通称を記入すること。

(資料 1 1)

添付書類 2 - ( )

衆・小

[illegible]

※NHKが用意します

衆・小

年 月 日執行  
衆議院小選挙区選出議員選挙  
政見放送録画（録音）日時決定票

都 道 府 県 名 発行 第 年 月 日 号

（ふりがな）  
候補者届出政党の名称

政見放送担当責任者氏名 殿

連 絡 先 〔電話〕 (内線)

政見放送の録画（録音）を下記のとおり実施します。

( ) ディスク	録画（録音）日時 年 月 日 ( 曜) 午前・午後 時 分 来着
	録画（録音）方式
( ) ディスク	録画（録音）日時 年 月 日 ( 曜) 午前・午後 時 分 来着
	録画（録音）方式

収録場所

所 在 地

電話番号

政見放送受付責任者



- （備考）
- 定められた日時および場所においてにならない場合は、政見を放送できないこととなりますから、ご注意ください。
  - 政見の録画（録音）に必要な時間は、録画方法により多少変わりますが、打合わせ、化粧に30分程度、スタジオでの録画は1時間程度、合計1時間30分程度かかります。
  - 録画（録音）したあと内容の変更はできません。
  - 政見放送の日は申し込み締め切り後、選管が通知します。
  - 録画（録音）においてになる時はこの決定票をご持参ください。
  - 録音物使用申請書を提出された出席者の政見放送の音声は、録画用原稿を朗読し録音したものを再生して収録します。

衆・小

NHK 用意

Aディスク及びBディスクを提出又は  
収録する候補者届出政党の各ディスクの  
放送日時指定の通知書

テレビジョン放送

A ディスクの放送日時					B ディスクの放送日時				
月	日	午前 午後	時	分	月	日	午前 午後	時	分
月	日	午前 午後	時	分	月	日	午前 午後	時	分
月	日	午前 午後	時	分	月	日	午前 午後	時	分
月	日	午前 午後	時	分	月	日	午前 午後	時	分
月	日	午前 午後	時	分	月	日	午前 午後	時	分
月	日	午前 午後	時	分	月	日	午前 午後	時	分
月	日	午前 午後	時	分	月	日	午前 午後	時	分

ラジオ放送

A ディスクの放送日時					B ディスクの放送日時				
月	日	午前 午後	時	分	月	日	午前 午後	時	分
月	日	午前 午後	時	分	月	日	午前 午後	時	分
月	日	午前 午後	時	分	月	日	午前 午後	時	分

上記のとおり、各ディスクの放送日時の指定の通知をします。

年 月 日

候補者届出政党の名称

本部の所在地

代表者の氏名  
(政見放送担当責任者)



NHK〇〇放送局 殿

備考 ①この通知書は、公示（告示）日の翌日の正午までに提出すること。  
②放送日時については、その政見放送枠の開始時刻を記入すること。

衆議院小選挙区  
候補者用

候補者経歴書

一、選挙区																																																																																																							
二、候補者届出政党の名称	.....																																																																																																						
三、氏名	.....		性別																																																																																																				
四、生年月日	年 月 日 ( 歳 )																																																																																																						
五、主要な経歴	<table><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>																																																																																																						
六、写真貼付欄	<table><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>																																																																																																						

右のとおり提出します。  
年 月 日

候補者の住所

候補者の氏名



N H K ○ ○ 放送局 殿

- (備 考) 一、選挙区欄は「○○県第○区」と記入し、公示(告示)日の午後五時までにNHKが指定する場所に提出する。
- 二、候補者届出政党の名称欄には、候補者届出政党の届出候補者のみが記入する。また、名称の字数が二十字を超える場合は、放送用として二十字以内の略称を併記する。
- 三、氏名欄には、当該選挙長の認定した通称があるときは、その通称を記載する。
- 四、年齢欄には、選挙の期日により算定した満年齢を記載する。
- 五、主要な経歴欄には、五十字以内で記載し、固有名詞・漢字・アルファベットにはふりがなをつける。
- 六、写真貼付欄に写真を一枚貼り付けるとともに、同じ写真を二枚添付する。

(注 意) 経歴書を提出しない候補者の経歴放送は、氏名、年齢、候補者届出政党の名称、職業の紹介に限られます。また、写真の提出のない候補者はテレビでは字幕のみの経歴放送になります。

衆・小

出席証明書

政党政見録音等出席者	
氏名	住所

右の者は、 年 月 日 執行の衆議院小選挙区選出議員選挙  
における本政党のラジオ放送（テレビジョン放送）による政見放送のために行う録音（録画）に  
出席する者であることを証明する。

年 月 日

候補者届出政党の名称  
本部の所在地  
代表者の氏名

印



衆・小

録音物使用申請書

年 月 日 執行の衆議院小選挙区選出議員選挙  
（テレビジョン放送）による政見放送のために行う録音（録画）に録音物を使用したいので申請します。

における左記政党のラジオ放送

年 月 日

住所

政党政見録音等出席者

NH K 放送局 殿

印

記

候補者届出政党		
代表者の氏名	本部の所在地	名称

備考

二

一 候補者届出政党が政見放送の申込みをする際にこの申請書を提出すること。  
二 提出する場合には、身体障害者手帳若しくは政見放送及び経歴放送実施規程第九条の第一項第一号に規定する音声機能等の障害の程度を証する書面又は戦傷病者手帳若しくは同項第二号に規定する音声機能等の障害の程度を証する書面を提示すること。

〔衆議院小選挙区用〕

都道府県名

政見放送の録音・録画に録音物を使用しようとする場合における録音用原稿用紙

[illegible]

候補者届出政党的名称〔

録音物使用申請者氏名〔

## 〔衆議院小選挙区用〕

都道府県名

政見放送の録音・録画に録音物を使用しようとする場合における録音用原稿用紙

[illegible]

右のとおり提出します。

年  
月  
日

候補者届出政党の名称

本部の所在地

代表者の氏名

録音物使用申請者の住所

氏名

印

NHK  
放送局殿

(備考) 一、録音用原稿は、この用紙により政見放送の申込みの際、録音物使用申請書等といっしよに提出する。

二、録音用原稿は、当該政見放送の録音又は録画において録音物を使用する政党政見録音等出席者のすべてを通じて、二千五百字以内で記載し、固有名詞等にはふりがなを付ける。

## 常 時 介 護 者 届 出 書

住 所	
ふりがな	
氏 名	
連絡先	

上記の者は、下記候補者を常時介護するものであることを届け出ます。

令和     年     月     日

候補者の住所

候補者の氏名



NHK〇〇放送局 殿

(備考) この書類を届け出る際には、政見放送及び経歴放送実施規程第9条第5項に規定する書面等を提示すること。

## 代 理 人 証 明 書

住 所

氏 名

生年月日 年 月 日 生

上記の者は、候補者に代わって経歴書を提出するものであることを  
証明します。

年 月 日

候 補 者 氏 名

住 所

備考 この書類は、候補者本人が経歴書を提出する場合は必要ありません。